

代表質問

2月定例会では、9つの交渉会派(所属議員3人以上)と1つの非交渉会派(3人未満)が代表質問を行いました。代表質問を行った会派の名称、発言順及び発言時間は次のとおりです。公明党(180分)、無所属の会(135分)、清風会(135分)、日本共産党(135分)、自由民主党(120分)、民進・連合・社民(105分)、創生市川第2(105分)、創生市川第3(105分)、創生市川第1(105分)、市民の力(20分)



改修された第四中学校屋内運動場併設の外部用トイレ

無所属の会

(総括質問者)

越川 雅史

増田 好秀

長友 正徳

湯浅 止子

秋本のり子

電子地域通貨

問 近年、各種電子マネーの普及が進んでおり、様々な場面で活用されている。先進的な自治体では電子地域通貨を導入し、地域経済の活性化を図ると共に、市民の利便性向上に努めている。本市においても導入すべきと考えるが、導入に関して市はどう考えているか。

答 電子地域通貨は、資金が地域外に流出しないことから、地域経済の活性化

につながるものと認識している。導入のメリットとして、運営の主体となる信用組合等の地域金融機関が決済手数料による運用益を得られること、利用者は現金を使用せず手軽な決済が可能になること等が挙げられる。また、加盟店においても、アプリケーション読み取りのための二次元コードの印刷物を掲示するのみで電子地域通貨を導入できるため、少ない負担で済む。今後、地域金融機関の意向を確認すると共に、本制度の調査研究を重ねていきたい。

子ども医療費助成制度

問 本市には、0歳から中学校3年生までの子どもに係る医療費を助成する制度がある。現在は、小学生以上の子どもに対しては所得制限を設けているが、平成30年8月診療分から、小学校3年生までの所得制限を撤廃することである。子育て環境の更なる充実に向けたものと評価できるが、制度撤廃の対象を小学校3年生までとした理由を問う。

答 子ども医療費助成事業は、県の補助の下、各市町村が子どもに係る医療費の全部又は一部を助成する制度である。県では全ての年齢に所得制限を設けているが、本市では、小学生以上に所得制限を設けている。30年8月診療分からの所得制限撤廃の範囲を小学校3年生までとしたのは、小学校低学年は、保育園等から小学校に入学することによる環境の変化等から体調を崩しやすく、早期の受診により病気の重症化を防ぐ必要があるためである。今後、実施に向け制度の周知を図りたいと考えている。

校庭トイレの洋式化

問 市内小中学校の校庭には、学校を訪問する市民が利用できるトイレが設置されているが、多くが和式であることから、高齢者や障がい者が利用しづらい状況である。学校は学習の場だけでなく、イベントの拠点としても利用されるなど、地域市民の交流の場にもな

っている。誰でも気兼ねなく利用できるよう、トイレの洋式化を図るべきと考えるが、市の認識を問う。

答 学校施設のトイレについては、高齢者や障がい者等、さまざまな人が利用できるよう、時代のニーズに合わせる必要があると考えている。校舎にあるトイレの改修は「トイレ改修計画」に基づいて行っており、平成27年度末には市内学校の半分の改修が完了し、28年度からは残りの半分の改修を進めている。校庭のトイレに関しては、校舎や屋内運動場の改修時に洋式化を進めており、今後も学校や地域の理解を得ながら、早期に改修をしていきたい。

日本共産党

(総括質問者)

桜井 雅人

高坂 進

金子 貞作

清水みな子

廣田 徳子

空き家対策

問 適切に管理されていない空き家が全国的に大きな社会問題となっている。本市は平成29年12月、新たに空家等対策計画を策定したが、どのような効果が期待できるか。また、管理不全状態にある空き家の安全対策や、空き家の活用を促す取り組みについて問う。

答 市内に現存する空き家数はこの3年ほど約500棟で推移している。本計画は、従来行ってきた「是正対策」に加え、所有者等への情報提供や啓発等の「予防対策」と、地域活性化に資する有効利用等の「適切な管理・活用の推進」を方針としており、今後はこれに沿って、地域住民の生活環境の保全や空き家等の活用に取り組みしていく。また、空き家等の適切な管理は所有者の責務であり、市としては不法投棄・火災の注意喚起等や巡回パトロールを行っている。利活用対策としては、空き家を賃貸物件として活用する場合に、移住・住みかえ支援機構が実施する「マイホーム借上げ制度」の周知を行っている。

ごみの減量・資源化

問 市は平成29年度から家庭ごみの収集回数を削減したが、ごみの減量・資源化につながっているのか。現状と推移について問う。

答 ごみ収集回数を変更した目的は、ごみの排出機会が減ることを契機として市民のごみの減量に対する意識を高め、減量と分別を促進することにある。29年4

定時制高校

問 県が示した県立学校改革推進プラン・第4次実施プログラム(案)には、行徳高校定時制課程の募集を廃止して船橋高校へ統合するとの案がある。行徳高校定時制は働きながら通う生徒等地域に不可欠の学びの場として大きな役割を果たしてお

り、その伝統を強く求めるが、市の認識と対応を問う。

答 行徳高校定時制には、現在、定員160名に対し1クラス16名が在籍、うち38名は市内在住者である。本市としては、同校定時制が様々な事情のある生徒の1つの進路先であったことから、行徳高校定時制の存続要望は現実的になくはない。念だが、全体的な定時制高



千葉県立行徳高等学校

スマホ

パソコン

で

録画

ライブ

録画中継は、YouTube「市川市議会公式チャンネル」でご覧いただけます。(概ね1年間公開)

≡
市川市議会中継
🔍